SONY

5-040-641-**03**(1)

FM/AMラジオ

取扱説明書

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

5040641103 (1)

©2022 Sony Corporation Printed in China

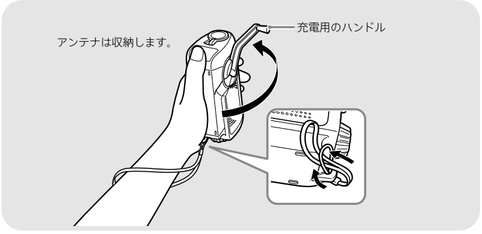
ICF-B300

内蔵充電池に充電する

ラジオ受信中でも内蔵充電池に充電できます。

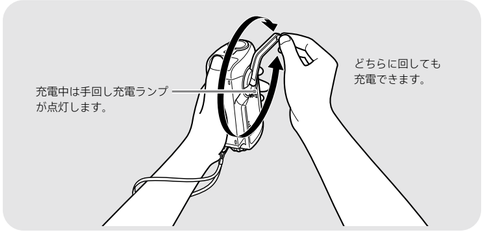
手回しで充電する

1 本機をしっかりと持ち、充電用のハンドルを起こす



ハンドストラップを手首にかけると、落下による事故やけがを防げます。

2 ハンドルを回して充電する



1秒間に2回転以上の速さが目安になります。

内蔵充電池の持続時間(目安)

	FM	AM	ライト
手回し充電1分間*1	約41分*2	約61分*2	約15分

*1 1秒間に約2回転の速さでハンドルを回した場合
*2 出力約1 mW時

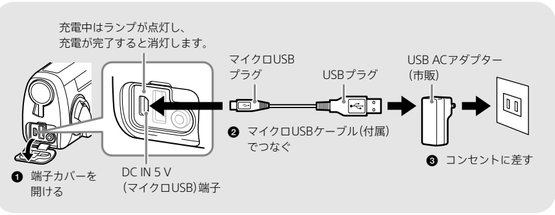
ご注意

- 約2、3分間回すごとに、一度手回しをやめて、1分間程度の休みを入れてから再度回してください。
- 1秒間に2回転以上の速さで手回しても手回し充電ランプが点灯しない場合は、過充電防止のため、手回し充電を止めてください。
- ラジオ受信中に充電すると、ラジオに雑音が入る場合があります。
- 長い間使わなかったときは、内蔵充電池の持続時間が短くなることがあります。この場合は、充電(1分以上)、放電(ラジオやライトを使用する)を繰り返すと、充分に充電できるようになります。

長期間使用しない場合でも、内蔵充電池の劣化を防ぐため、半年に1度は充電を行ってください。

USB ACアダプターで充電する

市販のUSB ACアダプター(出力電流500 mA以上)を使って充電できます。



充電完了後はマイクロUSBケーブルを抜いてください。

内蔵充電池の持続時間(目安)

	FM	AM	ライト
内蔵充電池が満充電のとき	約30時間(JEITA*)	約36時間(JEITA*)	約20時間

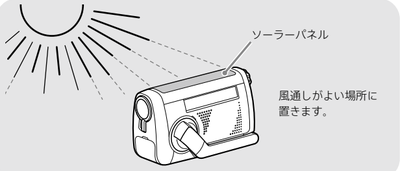
* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

ご注意

- 充電中、ラジオに雑音が入る場合があります。
- USB ACアダプターでの充電中は、手回し充電をしないでください。
- USB ACアダプター充電で満充電になったあとは過充電の恐れがあるため、手回し充電は控えてください。
- 内蔵充電池の性能を充分に発揮させるためには、周囲温度が10 ℃～30 ℃での充電をおすすめします。
- 内蔵充電池が空状態から満充電状態になるまでの充電時間は約4時間です。

太陽光で充電する

ソーラーパネル全面に太陽光が当たるように本機を置きます。



内蔵充電池の持続時間(目安)

	FM	AM	ライト
太陽光充電60分間*1	約32分*2	約49分*2	約10分

*1 屋外で晴天時に充電した場合
*2 出力約1 mW時

ご注意

- 効率よく充電するために、ソーラーパネルを太陽光に対して垂直になるように置いてください。
- ソーラーパネルの一部でも太陽光が当たっていないと、充電できません。
- 本機のソーラーパネルは屋外用です。室内照明では充電できません。
- UVカットガラスやUVカットフィルムを貼ったガラスを通した太陽光では充電できません。
- 周囲温度が10 ℃～30 ℃で、風通しがよく、熱がこもらない場所で充電してください。
- ラジオおよびライトの使用を目的として、太陽光充電をお使いいただけます。本機から携帯電話やスマートフォンへの充電を目的として、太陽光充電をお使いいただくことはできません。

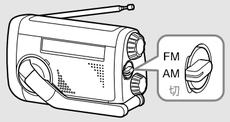
ラジオを聞く

ラジオ受信中でも内蔵充電池に充電できます。
電池が消耗すると、自動的に電源が切れます。

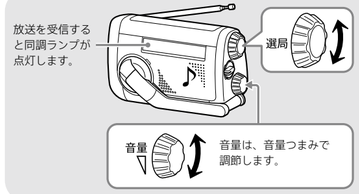
1 使う電源を選ぶ

内蔵充電池:内蔵充電池を使うとき
単3形電池:単3形乾電池(別売)を使うとき

2 「FM」または「AM」に切り換える

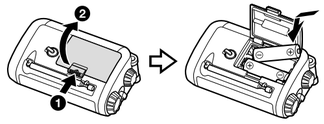


3 聞きたい放送局の周波数に合わせる



単3形乾電池2本(別売)を入れるには

❶ つまみをスライドする
❷ つまみを上に引き上げて、ふたを開ける



必ず⊖側から先に入れる
乾電池の向きは1本ずつ異なります。

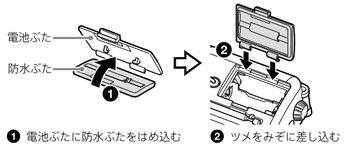
- 単3形乾電池から内蔵充電池には充電できません。
- 本機では単3形充電池に充電できません。
- 本機の防水性能を保つために、電池ぶたが完全に閉まり、ロックされていることを確認してください。
- 乾電池には使用期限があります。使用期限の切れた乾電池は使わないでください。
- **電池が消耗すると、自動的に電源が切れます。そのときはつまみを「切」に切り換えてから、内蔵充電池を充電するか、単3形乾電池を交換してください。**

乾電池の持続時間(目安)

	FM	AM	ライト
単3形乾電池*1	約77時間(JEITA*2)	約90時間(JEITA*2)	約50時間

*1 単3形(LR6)アルカリ乾電池(新品)2本を消耗するまで使用した場合
*2 JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

ふたがはずれたときは



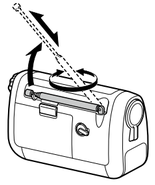
❶ 電池ぶたに防水ぶたをはめ込む ❷ ツメをみぞに差し込む

はっきりした音で聞くには

●アンテナの向きを変えてみます

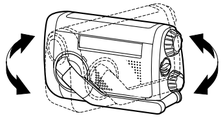
FM放送

FMアンテナを長く伸ばしたり、向きを変えたりして、受信状態の良い方向を探してください。



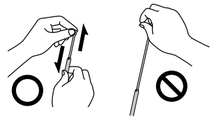
AM放送

AMアンテナは本体に内蔵されています。受信状態の良い本体の向きを探してください。



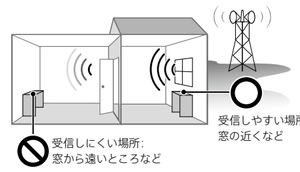
⚠ FMアンテナの取り扱いについて

アンテナを伸ばす/収納するとき
必ずアンテナの一番太い部分と先端を持ってゆっくりと行ってください。先端部分だけ持ったり、過剰な力を加えると、アンテナを破損する場合があります。

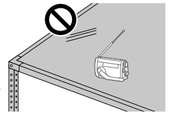


ご注意
本機に人の手が触れていると電波状況が変わることがあります。手を触れない状態で、電波状況が良い場所を探してください。

●受信する場所を変えてみます



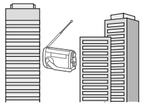
家電製品やスマートフォン(または携帯電話)などの近くで使用しない



金属製の机や台の上に置かない

次のような場所では電波が届きにくく、受信状態が悪くなることがあります。

ビルの谷間



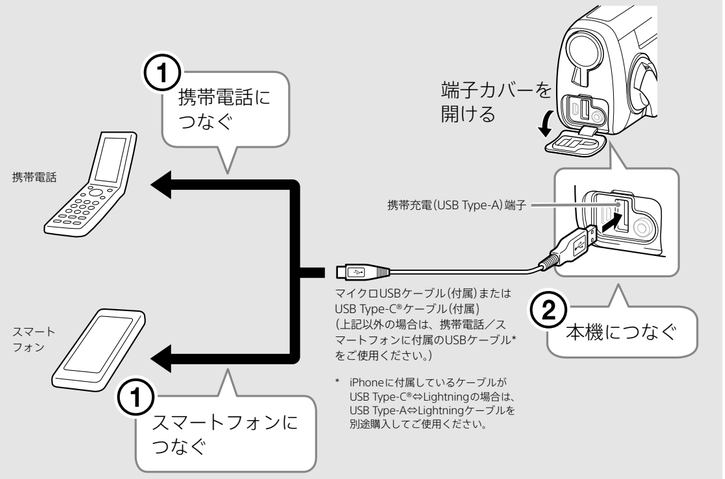
地下

トンネル内

携帯電話やスマートフォンを充電する

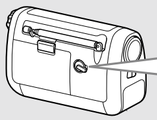
下記のURLを参照して、お手持ちの機種が本機で充電できるか確認してください。
https://www.sony.jp/support/radio/

1 携帯電話やスマートフォンと本機をつなぐ



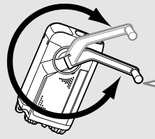
* iPhoneに付属しているケーブルがUSB Type-C®⇔Lightningの場合は、USB Type-A⇔Lightningケーブルを別途購入してご使用ください。

2 電源を選ぶ



電源切換 内蔵充電池 単3形電池 ▶ **内蔵充電池から充電するとき:**
(満充電の内蔵充電池で充電すると、連続25分(目安)*通話できます。)

電源切換 内蔵充電池 **単3形電池** ▶ **単3形乾電池(別売)から充電するとき:**
(新品の単3形アルカリ乾電池2本で充電すると、連続25分(目安)*通話できます。)



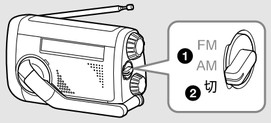
ハンドルはどちらに回しても充電できます。

手回しで充電するとき:
ハンドルを回すと充電が開始されます。
内蔵充電池や単3形乾電池からの充電中も、ハンドルを回すと手回し充電に切り換わります。(手回し充電ランプは点灯しません。)
(1秒間に2回転以上の速さで回してください。1分充電すると、連続1分(目安)*通話できます。回転が遅いと、充電できない場合があります。)

* 携帯電話、スマートフォンの機種や使用状況によって通話時間は異なります。

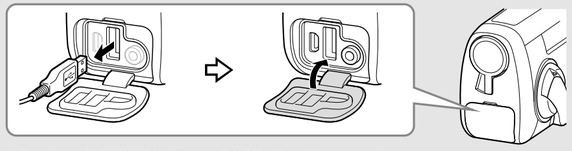
3 「FM」または「AM」に切り換えてから「切」に切り換える

充電が開始します。
つまみの位置が「切」の場合でも、一度「FM」または「AM」に切り換えてから(❶)、再度「切」に切り換えてください(❷)。



ラジオを聞きながら携帯電話やスマートフォンに充電はできません。

4 充電が終わったら、ケーブルをはずして端子カバーを閉じる



端子カバーは、防水性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。

充電が開始しない場合は

つまみを「FM」または「AM」に切り換えてから「切」に戻し、充電が開始するかご確認ください。それでも充電が開始しない場合は、電池が消耗していることが考えられます。下記の内容をご確認ください。

- 内蔵充電池からの充電の場合は、内蔵充電池を充電してください。
- 単3形乾電池からの充電の場合は、新品の単3形アルカリ乾電池に交換してください。

ご注意

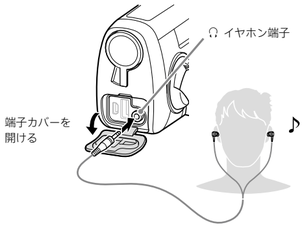
- **携帯電話やスマートフォンの電池が完全になくなる前に充電してください。**
- **単3形マンガン乾電池からは充電できません。**
- **単3形アルカリ乾電池から充電する場合は、新品をお使いください。**
- 携帯電話やスマートフォンの充電中は、本機の内蔵充電池へのUSB ACアダプター充電はできません。
- 太陽光充電から直接携帯電話やスマートフォンへの充電はできません。一度内蔵充電池を太陽光充電したあと、内蔵充電池から携帯電話やスマートフォンに充電してください。
- 充電後の電池は熱くなる場合がありますので、火傷しないようにご注意ください。
- 本製品は、USB充電可能なすべての製品が充電できることを保証するものではありません。

ヒント

- 充電状況は、携帯電話またはスマートフォンの画面で確認してください。
- 手回し充電時に、携帯電話やスマートフォン側で警告メッセージが表示された場合は、一度手回しをやめて、休みを入れてから回してください。
- 手回し充電のあと、内蔵充電池や単3形乾電池から充電する場合は、手回しを止め、もう一度手順1から操作してください。

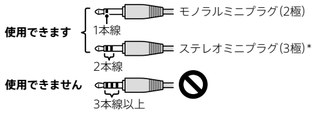
イヤホン(別売)で聞くには

イヤホン(別売)を∩(イヤホン)端子につなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。



ヒント

モノラルミニプラグ(2極)かステレオミニプラグ(3極)のイヤホンをお使いください。その他のタイプのイヤホンを使うと、ノイズが混じったり、音が出ない場合があります。



* 本機の∩(イヤホン)端子はモノラル出力です。ステレオイヤホンをつないでも、両耳から同じ音声(モノラル音声)が聞こえます。

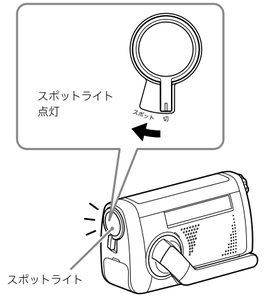
ご注意

- 歩行中または自転車、バイク、自動車などの運転中はイヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 踏切や駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではイヤホンを使用しないでください。
- イヤホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

ライトを使うには



困ったときは

●自動的に電源が切れる

電池が消耗すると、自動的に電源が切れます。そのときはつまみを「切」に切り換えてから、内蔵充電池を充電するか、単3形乾電池を交換してください。

●携帯電話やスマートフォンの充電が開始しない

つまみの位置が「切」の場合でも、一度「FM」または「AM」に切り換えてから「切」に切り換えてください。それでも充電が始まらない場合、本書「携帯電話やスマートフォンを充電する」の「充電が開始しない場合は」をご確認ください。

●内蔵充電池の持続時間が短い

長い間使わなかったときは、内蔵充電池の持続時間が短くなることがあります。この場合、充電(1分以上)、放電(ラジオやライトを使用する)を繰り返すと、充分に充電できるようになります。

●ラジオが受信できない

本書「はっきりした音で聞くには」をご覧になり、アンテナの向きを調整したり、受信する場所を変えてください。

型名:ICF-B300

お問い合わせ窓口

●各種お問い合わせ(LINEやメールなど)
詳しくは 以下のホームページをご覧ください。
https://www.sony.jp/support/inquiry.html

●電話でのお問い合わせ
【使い方相談窓口】
フリーダイヤル:0120-333-020
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9577
【修理相談窓口】
フリーダイヤル:0120-222-330
携帯電話・一部のIP電話:050-3754-9599

ガイダンスに沿って短縮番号「304」+「#」を押すと、担当窓口へおつなぎします。

FAX:(共通)0120-333-389　ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1